

# サン・ナゼールの街とアトランティック造船所

会員 福富 廉

大型クルーズ客船建造で有名な4つの造船所の1つ、フランスの造船所、アトランティック。2年前に訪れたドイツのマイヤーベルフト造船所（【学会誌 No.37 パーペンブルグの街とマイヤーベルフト造船所】）と共に、有償で工場見学ができるのを知っていたので、ぜひ行ってみたいと考えていた。今回、アムステルダムで行われた帆船祭りの見学を最大の目的としてヨーロッパを旅行し、ここを訪問してきたので同じような形式でレポートしたい。

## 1. サン・ナゼールの位置とその周辺

アトランティック造船所のあるサン・ナゼールは大西洋に面したフランス西部に位置し、古城やワインで有名なロワール川の河口にある。空港はあるにはあるが就航先も便数も少なく、主な公共交通機関は鉄道で、パリのモンパルナス駅からTGVで3時間弱というところである。今回、私はアイルランドから北部のロスコフという街にフェリーで到着し、モルレ、レンヌ（有名なモン・サン・ミッシェルへ行く拠点となる街）、ナントという大きな街をバスと鉄道で経由して、この街に到着した。鉄道はさらに西に延びており、8月のこの時期、大きな荷物をかかえた乗客で満員の電車に2度、3度遭遇し、西に大きな観光地があるらしいことが感じられた。



（図1）サン・ナゼールの位置

## 2. サン・ナゼールの街と観光

サン・ナゼールは古くから造船で栄えた工業都市で、現在はアトランティック造船所とエアバスの工場（最終組立地では無く主に胴体等の部品を造っているようだ）を中心にコンテナヤード等の港湾施設と化学コンビナートからなっており、また、洋上風力発電設備構築のための一大基地にもなっている。したがって、駅や街は他の大都市のように歴史を感じる場所や建物は少ないが、西側には大きな砂浜の海岸や公園が広がる等、風光明媚さも兼ね備えている。また、東側のロワール川河口には大きなサン・ナゼール橋がかかっていてランドマークとなっている。調べた限りでは、一般的な観光名所と言った類の場所は近くには見当たらないが、街の特性を活かした観光に力を入れているよう、以下のような、短時間のツアーや施設見学を行っている。

- ①アトランティック造船所見学（2時間のバスツアー）
  - ②港湾施設とコンビナート見学（2時間のバスツアー）
  - ③エアバス工場見学（2時間のバスツアー）
  - ④遊覧船での港巡り
  - ⑤郷土・海事博物館見学（名称はエコミュージアム；ほとんどが造船所と船に関するもの）
  - ⑥潜水艦「エスパドン」見学（旧防空施設【ブンカー】内に保存されている）
- 1960～1986年間就役していた昔の潜水艦の見学）



(図2) サン・ナゼールとアトランティック造船所周辺地図



港口側から北側のペノエット・ペイシン方向を見る  
左がエスカル・アトランティックのあるブンカー、右奥も潜水艦や風力センターが入るブンカー



ブンカーの屋上に上がることもできる（上の写真の左のブンカーの屋上から奥の造船所方向を見る）

⑦エスカル・アトランティック見学（「ノルマンディー」や「イル・ド・フランス」が活躍した時代の客船の船内を模したアトラクション施設）

⑧EOL 風力センター見学（洋上風力発電設備に関する展示施設）

私は、このうち、この期間前後の開催の無かった③④以外に参加し見学した。

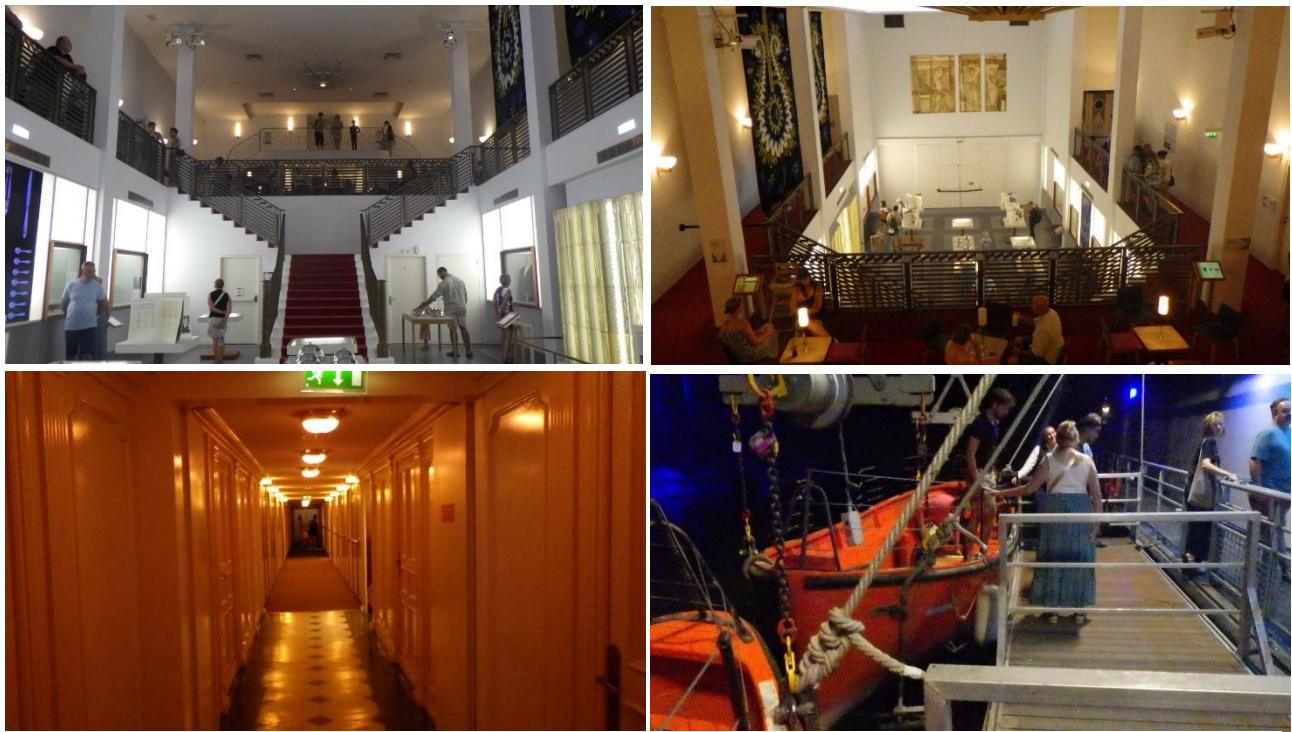
造船所見学を別にして、⑦は他に無いユニークな施設で、やはり、潜水艦を隠すための防空施設【ブンカー】内に設置されており、以前、テレビ番組でも紹介されたこともあるいくつか面白い仕掛けがあって楽しかった。ただ、多くは張りぼて感も否めず、もう少し当時の船の重厚さを再現できればなお良かったと思った。



⑤郷土・海事博物館（エコミュージアム）の外観と内部  
右上写真の模型は、右から「フランス」「ノルマンディー」「イル・ド・フランス」



⑥ブンカー内に浮かぶ潜水艦「エスパドン」 1960年から1985まで就役していた  
外観と内部見学ができる



⑦ブンカー内に設置されたエスカル・アトランティックの内部  
吹き抜けのラウンジ（上左右、喫茶も可能）、船室通路（下左）、救命艇もアトラクションの一部（下右）

### 3. アトランティック造船所の概要と見学ツアー

アトランティック造船所（フランス語：Chantiers de l'Atlantique）は1861年に設立されたジェネラル・トランスアトランティック（大西洋横断会社：現在の CMA CGM の前身）に元をたどり、1955年にロワール造船とペノエット造船の2つの会社が合併して今の形となったそうだが、その後、アルストム、アーカー・ヤード、STX ヨーロッパと所有者が代わって、今に至っているようだ。

ここで、建造された主な船としては、「ノルマンディー」、「イル・ド・フランス」、「フランス」、「ソブリン・オブ・ザ・シーズ」、「クイーン・メリーア」、「ノルウェイ・エピック」等の有名船の他、最近では、RCI のオアシス・クラスの3番船以降、セレブリティのミレニアム・クラスとエッジ・クラス、MSC のベリッシマを含む多くのクラス等々、数多い。

現状の主な建造設備としては以下の4つがあり、他に小型のドック等もあるようだ。

- (1) 長さ 900m 幅 70m、門型ゴライアスクレーン 2 基を要する長大建造ドック
- (2) 長さ 450m 幅 95m の巨大な C ベイスン（艤装岸壁）
- (3) 長さ 1,200m のさらに巨大なペノエット・ベイスン（内港、艤装岸壁）
- (4) ルイ・ジュベール・ドライドック [(3) に通ずる大型船用の閘門兼用]

また、今回行った8月中旬の時点での建造状況は、以下の通りだった。

- |                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| (a) 「MSC ワールド・アジア」 (MSC Cruises)      | (1) で建造中 (2026年完成予定)  |
| (b) 「セレブリティ・エクセル」 (Celebrity Cruises) | (2) で艤装中 (2025年10月完成) |
| (c) 「OE コリンシアン」 (Accor Cruises)       | (3) で艤装中 (2026年完成予定)  |

この中で、(c) はこの造船所が開発した Sireneas と言うユニークな帆装設備を持つ客船で、この時点では高さが 100m にも及ぶマストは未装着であったが、完成を見るのが楽しみである。

①造船所見学ツアーは、⑦エスカル・アトランティックの傍にある観光案内所前を発着する観光バスに乗車し、造船所構内の何ヵ所かで停車して説明を受け、一部、ブロック工場等では用意されたヘルメットをかぶって下車見学する2時間のツアーで、1人21€（この時約3,500円）。夏季には英語ツアーもあることになっていたが、実際には週1回しか無く、しかたなくフランス語のツアーに参加したが、拠点毎に説明のある英語音声ガイドと拠点を記したパンフレットの提供のみあった。ただし、拠点がどこかの説明も無く、予備知識の無い人には何が何だかわからないものではないかと思った。また、造船所構内は撮影禁止で、マイヤーベルフトのような見学専用施設も無いので、写真は全て造船所構外からの撮影のものである。

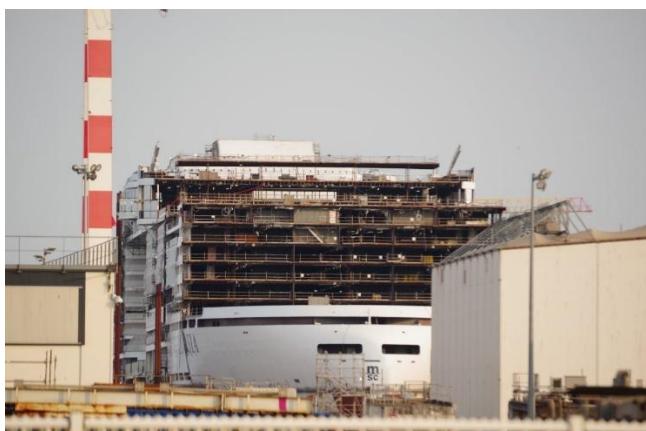
また、④の港巡りの代わりに造船所を海上から見るために、ナントとサン・ナゼールの間のロワール川を川下りする船を見つけて乗船したので、そこで撮影した写真も含めて紹介する。



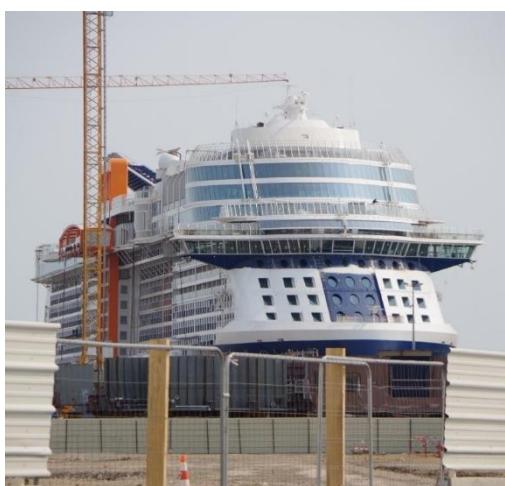
ロワール川から見たドックで建造中の「MSC ワールド・アジア」  
東側から西側へ①～⑤



「セレブリティ・エクセル」と「MSC ワールド・アジア」の2ショット



ドックの頭の先にある造船所展望園地から見た建造中の「MSC ワールド・アジア」とそのブリッジのブロック



C ベイスンで艤装中の「セレブリティ・エクセル」 2025年10月竣工、11月に就航した



ペノエット・ベイスンで艤装中の  
帆装客船「OE コリンシアン」  
2026年竣工予定

3つの基部の上に高さ100mほどの  
マストと1枚あたり1,500m<sup>2</sup>の  
パネル状の帆が付くらしい

完成形は下の看板の絵を参照



(左) 次世代風力推進装置の検証設備

アトランティック造船所が開発した  
このシステムは、  
“サイレンシーズ (Silenseas)” と言い、  
パネル状のセールを自動で展開し、  
LNG燃料のハイブリッド・エンジンと  
組み合わせて二酸化炭素の排出量を  
50%削減するとのことである



(上左と中) 世界最大級の自航式 SEP 船  
(自己昇降作業船) 「VOLE AU VENT」

レイ・ジュベール・ドライドックで洋上風力発電  
設備（支柱、ブレード、発電機）を積込中  
同様のものに、  
日本の清水建設が持つ「BLUE WIND」がある

(上右) SEP 船が出て行った後の同ドック

(左) 3分割して作られた洋上風力発電設備の  
支柱部材を荷揚げ中の専用船「ROTRA MARE」  
ドックの傍で 1 本に組み立てられていた



【参考】造船所の外の道路上の看板にあった 2022 年 5 月の航空写真（左奥に建造中の 1 隻、中央奥が「MSC ワールド・オイローパ」）

## 【資料】アトランティック造船所建造客船・大型フェリー一覧

インターネット、世界の艦船他からの情報を元に作成。同一船型一番船の竣工古い順。

	船主（新造時）	船名（新造時）	建造年	総トン数
1	Accor Cruises	OE Olympian	2027（予定）	26,200
2		OE Corinthian	2026（予定）	
3	The Ritz-Cartan Yacht Collection	Luminara	2025	47,435
4		Ilma	2024	
5	MSC Cruises	MSC World ????（未定）	2030（予定）	215,863
6		MSC World ????（未定）	2029（予定）	
7		MSC World Atlantic	2027（予定）	
8		MSC World Asia	2026（予定）	
9		MSC World America	2025	
10		MSC World Europa	2022	
11	MSC Cruises	MSC Euribia	2023	181,541
12		MSC Virtuosa	2021	
13		MSC Grandiosa	2019	
14	Celebrity Cruises	Celebrity Xcite	2028（予定）	141,420
15		Celebrity Xcel	2025	
16		Celebrity Acent	2023	
17		Celebrity Beyond	2022	
18		Celebrity Apex	2020	130,818
19		Celebrity Edge	2018	
20	MSC Cruises	MSC Bellissima	2019	171,598
21		MSC Meraviglia	2017	
22	Royal Caribbean International	???? Of the Seas（未定）	2028（予定）	231,000
23		Utopia of the Seas	2024	236,473
24		Wonder of the Seas	2021	
25		Symphony of the Seas	2018	
26		Harmony of the Seas	2016	
27	Hapag & Lloyd	Europa2	2013	42,830
28	Norwegian Cruise Line	Norwegian Epic	2010	155,873
29	MSC Cruises	MSC Preziosa	2013	137,936
30		MSC Devina	2012	
31		MSC Splendida	2009	
32		MSC Fantasia	2008	
33	MSC Cruises	MSC Magnifica	2010	92,409
34		MSC Poesia	2008	
35		MSC Orchestra	2007	
36		MSC Musica	2006	
37	Qunard Line	Queen Mary 2	2003	148,528
38	Crystal Cruises	Crystal Serenity	2003	68,870
39	Princess Cruises	Island Princess	2003	91,627
40		Coral Princess	2002	
41	Radisson Seven Seas Cruises	Seven Seas Mariner	2001	48,075
42	Festival Cruises	Opera	2003	59,058
43		Lirica	2002	
44		European Stars	2002	58,625
45		European Vision	2001	

	船主（新造時）	船名（新造時）	建造年	総トン数
46	Celebrity Cruises	Constellation	2002	90,280
47		Summit	2001	
48		Infinity	2001	
49		Millenium	2000	
50	Festival Cruises	Mistral	1999	47,276
51	Renaissance Cruises	R Eight	2000	30,277
52		R Seven	2000	
53		R Six	2000	
54		R Five	2000	
55		R Four	1999	
56		R Three	1999	
57		R Two	1998	
58		R One	1998	
59	Paul Gauguin Cruises	Paul Gauguin	1997	19,170
60	Royal Caribbean International	Vision of the Seas	1998	78,491
61		Rhapsody of the Seas	1997	
62	SNCM	Napoleon Bonaparte	1996	44,307
63	Royal Caribbean International	Splendour of the Seas	1996	69,130
64		Legend of the Seas	1995	
65	Norwegian Cruise Line	Windward	1993	39,172
66		Dreamward	1992	
67	Admiral Cruises/Royal Caribbean Cruise Line	Nordic Empress	1990	48,563
68	Brittany Ferries	Bretagne	1989	16,335
69	SNCM	Danielle Casanova	1989	30,985
70	Sitmar Cruises/Princess Cruises	Star Princess	1989	63,500
71	Royal Caribbean International	Majesty of the Seas	1992	74,077
72		Monarch of the Seas	1991	73,937
73		Sovereign of the Seas	1987	73,529
74	Holland America Line	Noordam	1984	33,933
75		Nieuw Amsterdam	1983	
76	China Ocean Shipping Company	Yaohua	1967	10,151
77	Compagnie Francaise de Navigation	Renaissance	1966	11,724
78	Zim Israel Navigation Company	Shalom	1964	25,338
79	Compagnie de Navigation Paquet	Ancerville	1962	14,225
80	Compagnie Générale Transatlantique	France	1962	66,348
81	Cie de Nav Fraissinet et Cyprien Fabre	Jean Mermoz	1957	12,457
82		General Mangin	1953	
83	Société Générale de Transport Maritimes	Bretagne	1952	16,335
84	Compagnie de Navigation Sud Atlantique	Pasteur	1939	29,253
85	Compagnie Générale Transatlantique	Normandie	1935	79,280
86	Compagnie Générale Transatlantique	Champlain	1932	28,124
87	Compagnie de Navigation Sud Atlantique	L'Atlantique	1931	42,512
88	Messageries Maritimes	Georges Philippar	1931	17,539
89		Felix Roussel	1930	16,753
90	Compagnie Générale Transatlantique	Lafayette	1930	25,178
91	Compagnie Générale Transatlantique	Ile de France	1927	43,153
92	Messageries Maritimes	Explorateur Grandidier	1925	10,268
93	Compagnie Générale Transatlantique	Paris	1921	34,569
94	Compagnie Générale Transatlantique	France (初代)	1912	23,666

## 筆者の見たアトランティック造船所建造クルーズ客船

建造時の船名 (建造年) 撮影年／場所



フランス (1962) 1989／マイアミ  
(撮影時は、ノルウェー、現存しない)



ノールダム (1984) 1986／ロサンゼルス  
(現存しない)



ソブリン・オブ・ザ・シーズ (1987) 1989／ラバディー (ハイチ)  
(現存しない)



スター・プリンセス (1989) 1990／バンクーバー  
(現存しない)



レジェンド・オブ・ザ・シーズ (1995) 2012／横浜  
(現、マレラ・ディスカバリー2)



Rエイト [8] (2000) 2025／横浜  
(撮影時は、アザマラ・パシユート)



インフィニティ (2001) 2012／ジュノー (アラスカ)  
(撮影時は、セレブリティー・インフィニティ)



セブンシーズ・マリナー (2001) 2007／東京湾



コーラル・プリンセス (2002) 2012／グレーシャーベイ



クリスタル・セレニティ (2003) 2014／横浜



MSC ファンタジア (2008) 2013／サントリーニ島



オイローパ2 (2013) 2025／横浜



MSC ベリッシマ (2019) 2025／横浜



セレブリティ・エイペックス (2020) 2024／サザンプトン



MSC ヴィルツオーサ (2021) 2024／サザンプトン



MSC ワールド・エウローパ (2022) 2024／マルタ